

緑の風

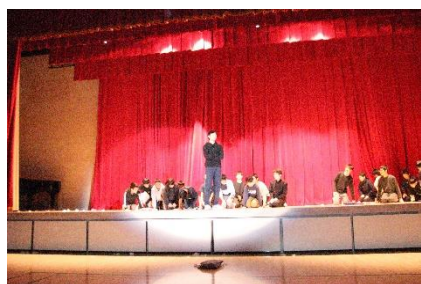


令和6年3月13日(水)
流山市立おおぐろの森中学校
第2学年 学年通信

「3年生を送る会」大成功!~自分で考え、仲間と協力し、人を活かす場として~

3学期に入り、3年生を送る会の練習に力を入れてきました。今年の送る会の発表は、実行委員の中から「劇」にしようというアイデアでまとまり、学年で、キャスト、ダンス・アクロバット、大道具、衣装、装飾、招待状で係を分担し制作しました。今回の取り組みで素晴らしかったところは、練習の過程に見られたと思います。2月中盤になり、本番が少しずつ見えてくると、自然と熱が入り、活動内容の決定は生徒たち自身で行われていきました。各部門で何を制作することが必要なのか、劇を想像しながら部門内で対話を重ね進めていきました。意見がすれ違うことも多くあったことと思いますが、活動を続けていく中で折り合いをつけ前に進めていきました。また昼休みの時間などで、大道具の制作やダンスやキャストチームの練習が自発的にさまざまな場所で続けられていました。このような活動の能動的な姿は、2年間の成長を感じさせるものでした。

また、実行委員や各部会を越えた連携がどんどん取れるようになっていきました。例えば、ダンス・アクロバットの発表で少し困った状況が発生すれば、自分の担当だけにとらわれず、多くの実行委員がそこにに関わりながら本番の直前まで調整し続ける場面が出てきました。自分だけではなく、仲間を活かそうとする行動が、本当に素晴らしいものだったと思います。自分がやりたいことと仲間のやりたいことをつなぎ合わせて、何か新しい考え方に派生させていく。人として自分をもち(自立)、連携し(協働)、仲間と新しい道を探しお互いを活かす(貢献)という、学校目標の「自律」という考えをより深く理解しながら進もうとしていました。それは社会に通用する人としてステップアップしていく瞬間のように感じました。本番の発表は、2年生の生徒一人一人が最善を尽くしてやり遂げた素晴らしいものだったと思います。3年生がとても楽しんでくれたことで、2年生は自分の活動の成果を心から実感できたようです。そして、その気持ちが合唱の「YELL」ののって、3年生に送られながら発表は締めくくられました。



◎今年度を振り返って

今年度は、GrowSchoolで福島を訪れ、体育祭や合唱コンクール、けやき祭も規模が大きくなり、キャリア学習を通して職業についてプロから学び、つい先日3年生を送る会で自分たちの集大成となりました。また、授業の難易度もあがり、ICTもより幅広く活用してきました。日常生活では、あいさつ、清掃、時間、電子機器の使い方などを日頃からよく意識し、リーダーを中心に生活の質を高めようとして取り組んできたところです。

このような成長を続けた1年間、学年は多くの「人」とつながり、支えられてきたと感じています。人から多くのことを学び、助けられてきました。例えば、福島では東日本大震災で被災した語り部の方々から人や心の痛みを感じました。キャリア学習の職業人講話で出会った人から、働くこととは「貢献」することだと学び、3年生を送る会のアイデアは、卒業生による昨年度の素晴らしい発表から生徒自身により見出してきたものです。思い返せば、数えきれないくらい出てきます。来年度は最上級生である3年生としての責任を受け止めながら、さらにより多くの人との出会いを広げ、成長に還元していきたいと思います。また、関わる人に感謝の気持ちを自然と持てるような1年間にしていきたいと思います。「人」を大切にすることを大事にしていきたいです。

また、義務教育の最終年となり、自分の意志で将来を決めていく人生の岐路となります。卒業後の進路についてよく考え、それに向けて自分が何をしたいのか、人とどう関わって生きていきたいのか、そして人や世の中にどのように役に立ってきたいのかを自ら選んで結論を出し、勇気を持って自分で考え進んでいく1年間です。私たち職員も、いつも世の中に目を向けながら、子どもたちの大切な将来に向けてともに寄り添い支援を続けていきたいです。昨年度に引き続き、今年度も1年間多くのご理解・ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いたします。